

第3回長岡市行政機能再配置検討市民委員会 資料

平成18年6月13日

これまでの検討の整理について

1 これまでの検討のながれ

〔別紙1 参照〕

2 配置パターンの整理

(1) 検討対象地区の位置について

〔別紙2 参照〕

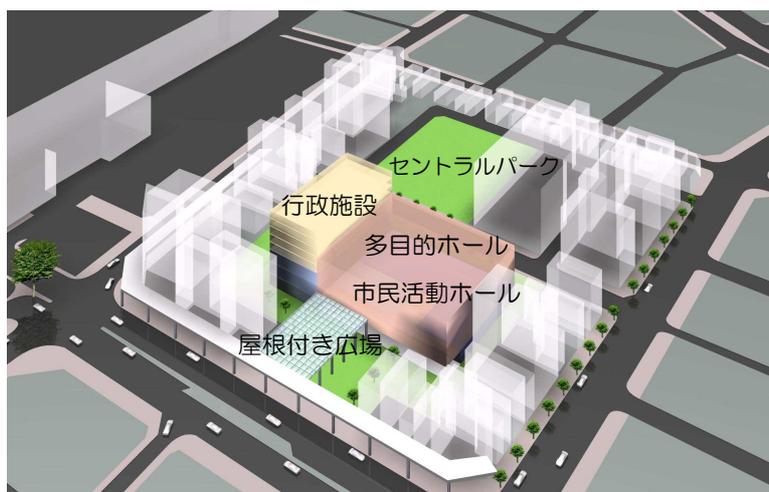
(2) 各地区における配置パターンの整理

〔別紙3 参照〕

ア 中心市街地

- 中心市街地では現在、厚生会館地区、大手通中央東地区、大手通中央西地区及び大手通表町地区において、整備・再開発の検討が行われている。
- 行政機能を配置する場合、駅から最も近い市有地である厚生会館地区に集中配置するパターンと、その他の再開発地区を組み合わせた分割配置パターンが想定される。

〔参考：厚生会館地区における施設の整備イメージ〕



※ 上図は仮定のイメージであり、施設の規模、形状及び位置等については、具体的に検討を要する。

イ 長岡操車場地区

- 長岡操車場地区では今後、「防災シビックコア地区整備計画」に基づき、防災公園や市民防災センター、消防庁舎など、様々な施設の配置が予定されている。
- 行政機能の配置を想定する場所は「夢づくり空間」が想定されるが、この箇所については現在、県総合庁舎の配置なども協議中である。